

第 117 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和 3 年 3 月
 - 2 開催場所 アンケートによる書面開催
 - 3 委員総数 10 名、出席（回答）委員数 5 名、欠席委員数 5 名
出席委員：館石晃一、白井萌以、深田真弓、斉藤早紀、さいとう真由美
欠席委員：石田浩二、富岡久和、宮下睦史、川口正樹、高橋祐介
- 放送局側出席者 山崎浩一、金井周平
- 4 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。
 - 5 議事 番組へのご意見

◆対象番組：

年末特別番組【じもバン音楽祭 2020】～コロナに負け Ciao!いられない!～
令和 2 年 12 月 31 日(木) 19 時～21 時(2 時間)録音放送

○委員からの意見

- ・2020 年はコロナ禍で演奏する場がなかったが、この特番により、バンドにとっては披露の場、リスナーにとっては自宅でもイベント気分が楽しめる良い番組だと思った。
- ・今回の 5 組はジャンルも様々で、トータルは長時間番組だが、約 20 分ずつで聴きやすかった。(何組かジャンルが同じだと聴きあきてしまう可能性がある)
- ・1 組ごとに総評があり、良い区切りだった。
- ・「テリーズ」は、演奏するバンドや曲の説明があり良かった。また、その曲調とハーモニーから、二人の演奏風景が目に浮かぶようだった。
- ・コピー、オリジナルとも、バンドの個性がよく出ていた。
- ・このような番組があると、次回イベント等で実際に拝見した際に身近に感じると思う。
- ・音楽には心と身体を癒す力があるので、今回の放送はコロナ禍をはじめとしたストレスの解消にとっても効果が得られたと思う。
- ・ただ流すだけでなく、一曲一曲に対するパーソナリティの方々の感想もあったのでより一層聞きごたえがあった。実際にライブを見に行っている気分になれた。
- ・コロナ禍によりほとんどのライブが中止になっているので、見にいけない分非常にありがたい放送だった。
- ・基本的に J-POP などの流行曲ばかり聴いていたので、今回の放送でアマチュアバンドに興味を持ち、個人的に聴いてみたくなった。熱海・湯河原の良さを、アマチュアバンドを通して広めていくのも一つの手かと思う。
- ・コロナ禍の中、なかなか活動が出来ない地元バンドのみなさんを出演させるという企画で日頃の活動を知ってもらう機会にもなり良い企画だと思う。
- ・ラジオ放送は、自分や知人が出演することで聴くきっかけになるので、リスナーを増やすことにも繋がると思った。

- ・ 今度は、親父バンドプラス若年層のバンドも出演してもらいリスナーの年齢層を広げるのも必要かな？と感じた。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大でイベントが軒並み中止になっている中での無観客ライブをラジオで収録オンエアのアイデアすごく良いと思った。
- ・ 曲とその間に経緯の説明や普段出ているイベント、メンバー紹介等、初めてバンドメンバーを知りましたが、聞きやすい内容だった。
- ・ 途中解説者で元ギタリストのバンドウさんの解説が、曲や技術の紹介や説明等もあり聞くポイントもわかりやすかった。
- ・ 全体を通して5組のバンドがリレー形式で曲の演奏→紹介→感想→曲の流れで聞くことができ、最後には医療従事者へのエール曲もとても良かった。
- ・ 初めて聞いたこともあり、曲演奏の前に解説者のバンドウさんの説明を聞き、バンドのポイントを押さえたうえで聞きたかったと思った箇所もあったが、全体を通してとても聞きやすくコロナ禍でも明るい内容だった。
- ・ コロナ禍で出演が減ったバンドが曲を披露できるとても良い新しい形の企画だと思う。
- ・ 2バンド目のマンスリーの曲間のバンド・曲紹介のパーソナリティーの語りと曲がちょうどよく合っていて、曲とバンドの感じがわかる。
- ・ 曲と曲の間に拍手音があっても良かったのでは？
- ・ バンドメンバーとパーソナリティーの掛け合いがあった方が面白かった。
- ・ 大晦日に放送の番組なので、年明けまであとどれくらいなのかななどの話があってもよかった。